

JR東海労なごや

2012年3月8日 No. 895
JR東海労名古屋地方本部
発行者：山田哲也
編集者：堀部肇

証人への悪辣な嫌がらせだ！

乗務員配置解消が提案されている紀伊長島駅で、前代未聞の日勤教育が行われています。過日、多気駅～相可駅間において48系気動車で制限ブレーキを使用したところ、ツリアイ空気ダムの誤動作により非常ブレーキが動作し列車が停止しました。運転士はただちに指令に報告し、指令の指示により、ATS-P T関係及びEB動作を含め確認のため10分ほど停車しました。原因は旧型気動車の不具合による非常ブレーキの動作と判明しました。

しかし会社は、運転士を途中で乗務交代させ事情聴取を行い、次勤務からは日勤教育を指定してきました。運転士は素直に日勤教育にに応じているにもかかわらず、会社は「ブレーキ弁の山越えによる」非常ブレーキ動作＝運転士のミスにしようと懸命です。

抗議に対し、何ら応えられない会社！

なぜなら、その理由はこれだ！

- ・ 当人が今月の19日に労働委員会の証人に立つことへの嫌がらせ！
- ・ 紀伊長島駅乗務員配置廃止反対運動に対する報復的な攻撃！
- ・ 乗務員配置廃止に伴い転勤が最も遠距離になる当人への口封じ！

我々は断じて許さない断固闘う！